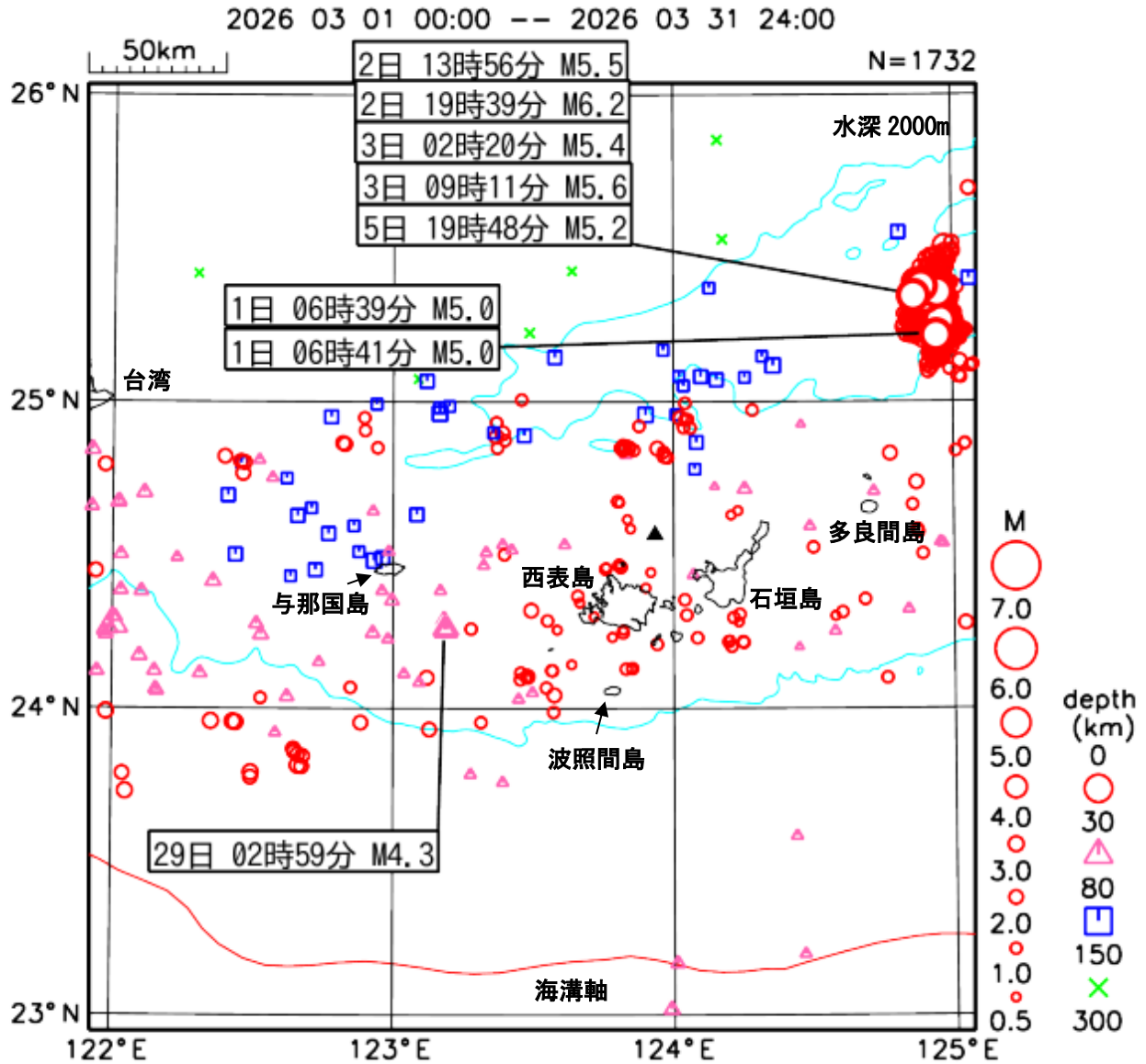


# 八重山地方の地震活動

令和8年(2026年)3月

石垣島地方気象台

## 震央分布図



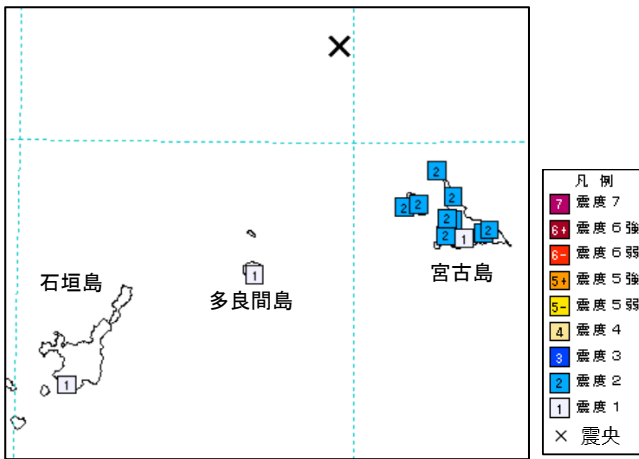
図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ  
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)  
▲ : 活火山  
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。  
水深 2000mの海底等深線は海上保安庁による

### 【概況】

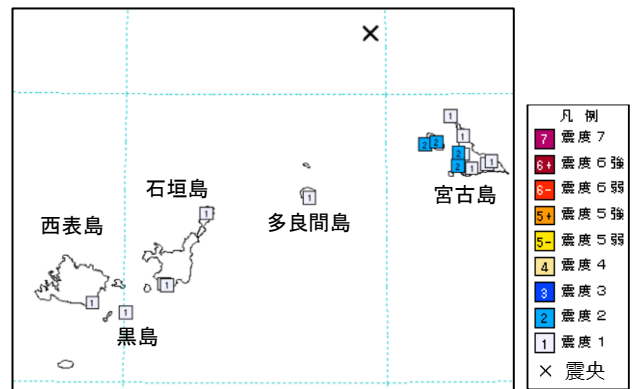
今期間(3月)、震度1以上を観測した地震は9回(震央分布図範囲外を含む)でした(2月は6回)。

1日から5日にかけて宮古島北西沖の地震により、石垣市や竹富町で震度1の地震を7回観測しています(別紙参照)。

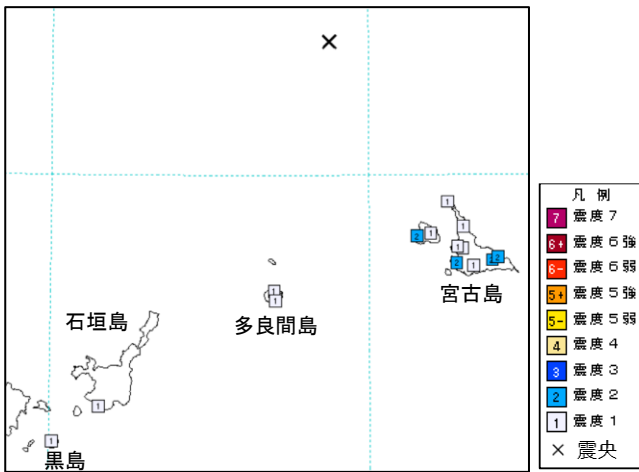
[震度分布図]



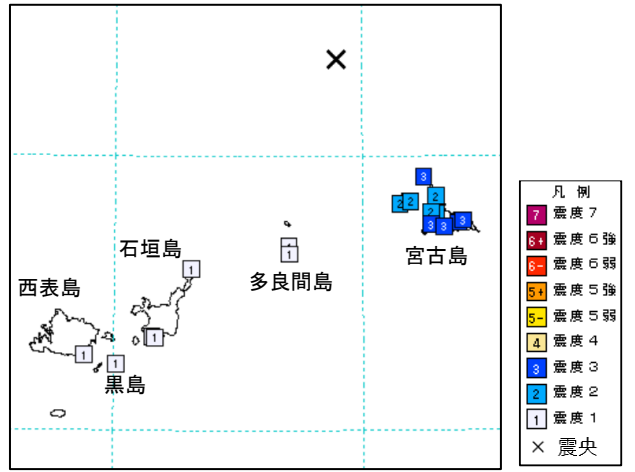
3月1日06時39分 宮古島近海 深さ9km M5.0



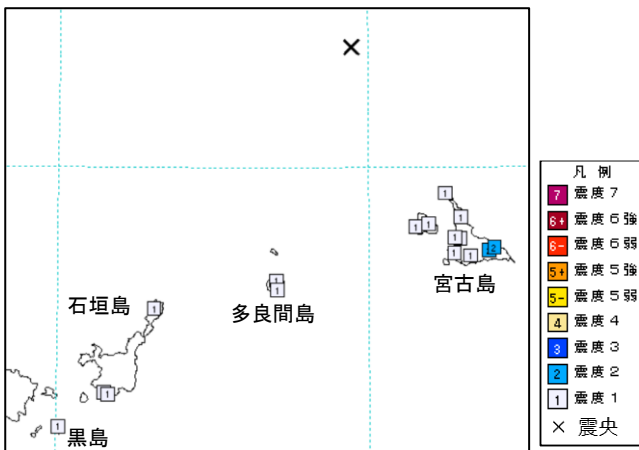
3月1日06時41分 宮古島近海 深さ11km M5.0



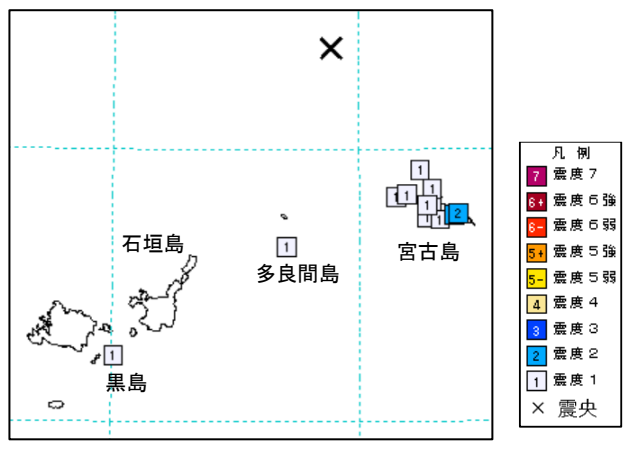
3月2日13時56分 宮古島北西沖 深さ5km M5.5



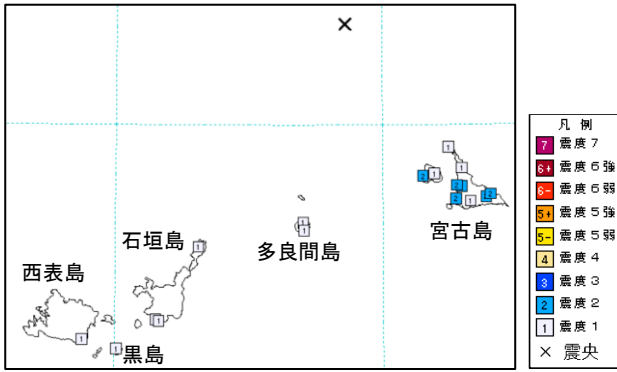
3月2日19時39分 宮古島北西沖 深さ5km M6.2



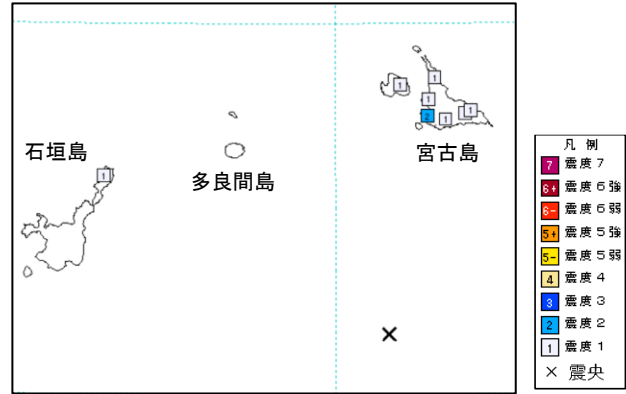
3月3日02時20分 宮古島近海 深さ14km M5.4



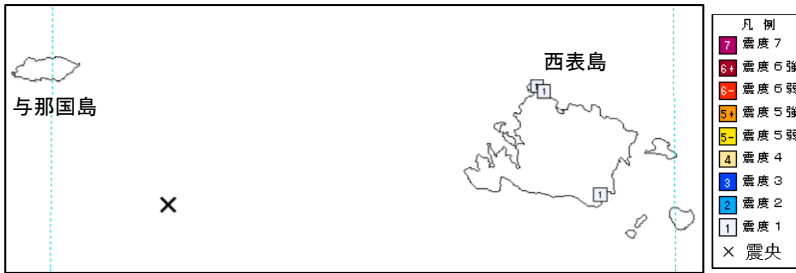
3月3日09時11分 宮古島北西沖 深さ13km M5.6



3月5日19時48分 宮古島北西沖 深さ5km M5.2



3月10日20時42分 宮古島近海 深さ24km M4.6



3月29日02時59分 与那国島近海 深さ47km M4.3

### 八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：3月1日～31日）

震源時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2026年03月01日06時39分	宮古島近海	25°15.7' N	124°57.4' E	9km	M5.0
沖縄県	震度 2：宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地*, 宮古島市平良西里* 宮古島市下地島空港*				
	震度 1：多良間村塩川, 宮古島市上野新里, 石垣市新栄町*				
2026年03月01日06時41分	宮古島近海	25°12.8' N	124°56.5' E	11km	M5.0
沖縄県	震度 2：宮古島市平良下里, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市下地*, 宮古島市下地島空港*				
	震度 1：多良間村塩川, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市平良西里*, 石垣市登野城 石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 竹富町大原, 竹富町黒島				
2026年03月02日13時56分	宮古島北西沖	25°22.9' N	124°52.6' E	5km	M5.5
沖縄県	震度 2：宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地*, 宮古島市下地島空港*				
	震度 1：多良間村塩川, 多良間村仲筋*, 宮古島市平良下里, 宮古島市平良池間 宮古島市上野新里, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市平良西里* 石垣市新栄町*, 竹富町黒島				

-----  
2026年03月02日19時39分 宮古島北西沖 25°21.3' N 124°53.6' E 5km M6.2  
沖縄県 震度 3 : 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里, 宮古島市城辺福西\*  
宮古島市下地\*  
震度 2 : 宮古島市平良下里, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣\*, 宮古島市平良西里\*  
宮古島市下地島空港\*  
震度 1 : 多良間村塩川, 多良間村仲筋\*, 石垣市登野城, 石垣市平久保, 石垣市新栄町\*  
竹富町大原, 竹富町黒島  
-----

2026年03月03日02時20分 宮古島近海 25°21.2' N 124°56.8' E 14km M5.4  
沖縄県 震度 2 : 宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西\*  
震度 1 : 多良間村塩川, 多良間村仲筋\*, 宮古島市平良下里, 宮古島市平良池間  
宮古島市上野新里, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣\*, 宮古島市下地\*  
宮古島市平良西里\*, 宮古島市下地島空港\*, 石垣市登野城, 石垣市平久保  
石垣市新栄町\*, 竹富町黒島  
-----

2026年03月03日09時11分 宮古島北西沖 25°22.4' N 124°53.4' E 13km M5.6  
沖縄県 震度 2 : 宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西\*  
震度 1 : 多良間村塩川, 宮古島市平良下里, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里  
宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣\*, 宮古島市下地\*, 宮古島市平良西里\*  
宮古島市下地島空港\*, 竹富町黒島  
-----

2026年03月05日19時48分 宮古島北西沖 25°20.6' N 124°51.6' E 5km M5.2  
沖縄県 震度 2 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西\*, 宮古島市下地\*  
宮古島市平良西里\*, 宮古島市下地島空港\*  
震度 1 : 多良間村塩川, 多良間村仲筋\*, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里  
宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣\*, 石垣市登野城, 石垣市平久保  
石垣市新栄町\*, 竹富町大原, 竹富町黒島  
-----

2026年03月10日20時42分 宮古島近海 24°09.6' N 125°09.4' E 24km M4.6  
沖縄県 震度 2 : 宮古島市下地\*  
震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市上野新里, 宮古島市伊良部前里添  
宮古島市平良狩俣\*, 宮古島市城辺福西\*, 石垣市平久保  
-----

2026年03月29日02時59分 与那国島近海 24°15.5' N 123°11.2' E 47km M4.3  
沖縄県 震度 1 : 竹富町大原, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館\*  
-----

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

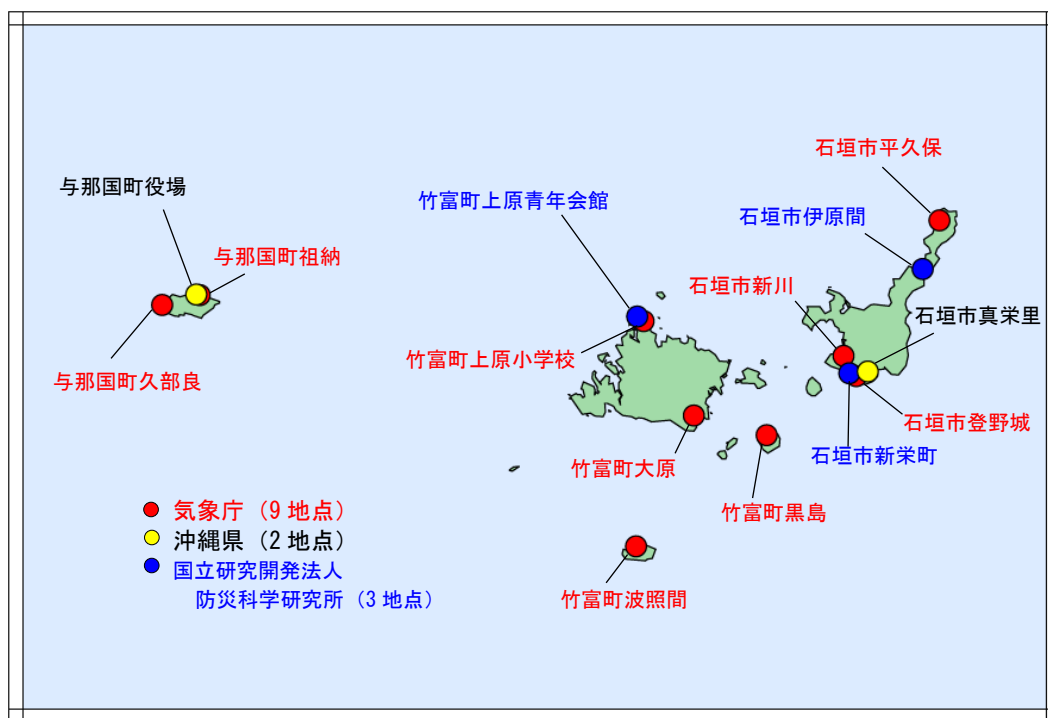
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

## 八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

※震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」  
をご覧ください。

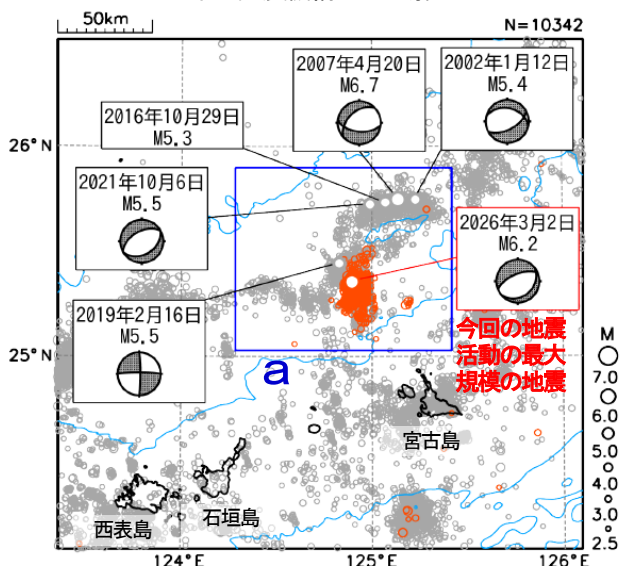
URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2170



# 宮古島北西沖の地震活動

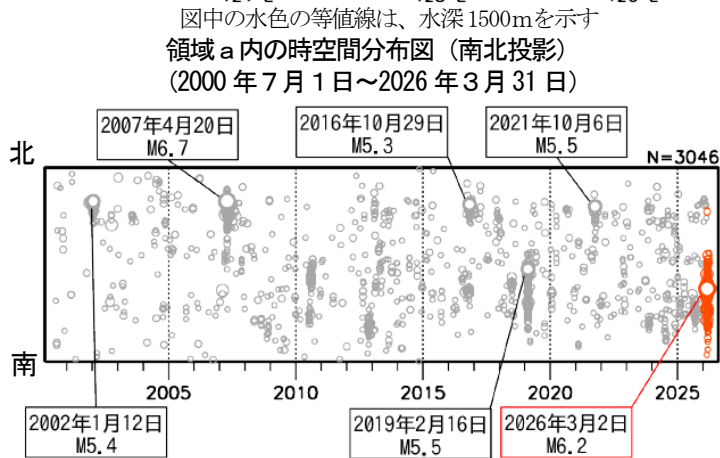
震央分布図  
(2000年7月1日～2026年3月31日、  
深さ0km～50km、 $M \geq 2.5$ )  
2026年2月26日～3月31日の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解



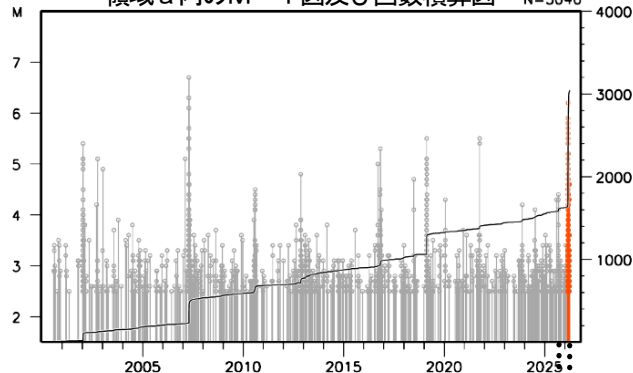
宮古島北西沖では、2026年2月26日から地震活動が活発となり、2月26日から3月31日までに震度1以上を観測する地震が32回 (震度3: 1回、震度2: 13回、震度1: 18回) で、これら一連の地震活動は、沖縄トラフ沿いで発生している。このうち最大規模の地震は3月2日19時39分に発生したM6.2の地震 (最大震度3) で、発震機構 (CMT解) は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型で陸のプレート内で発生した。

2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上の地震活動が時々見られる。2007年4月20日には、M6.7の地震 (最大震度3) が発生した。

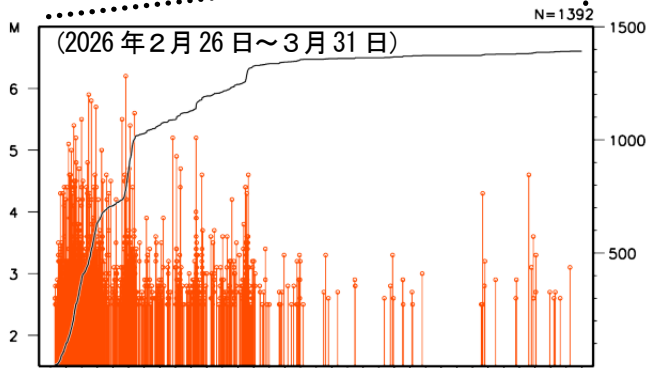
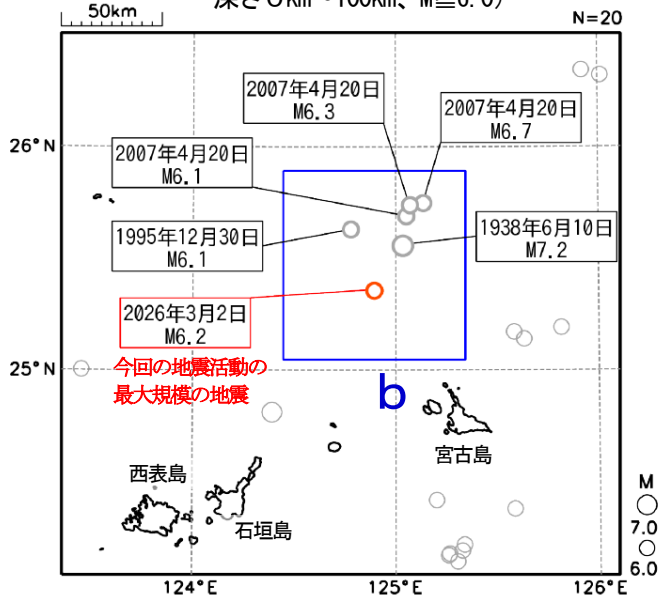
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0以上の地震がまれに見られる。1938年6月10日にはM7.2の地震 (最大震度4) が発生しており、宮古島平良港に地震後10分で津波が襲来して高さ1.5m (目視による最大の高さ)、棧橋の流出などの被害があった (被害は、日本被害地震総覧による)。



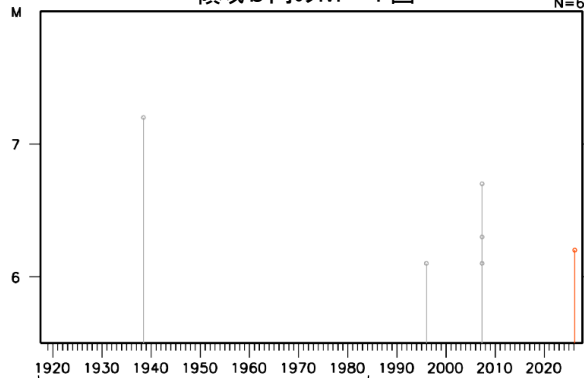
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1919年1月1日～2026年3月31日、  
深さ0km～100km、 $M \geq 6.0$ )



領域b内のM-T図



この期間地震の検知能力が低い